

メディアと子育て

トリプルP（前向き子育てプログラム）のスキルを使って
上手な付き合い方を考えるワークショップ

NPO法人名 葉山っすくすくパラダイス

募集対象 乳幼児の親

開催時期 11月～12月(計8回)

会 場 逗子市商工会館 会議室

開催時間 10時～12時

講 師 トリプルP認定ファシリテーター

参加者数 14名

●主な内容

乳幼児と親が、テレビやビデオとどうつき合うのか、トリプルP（前向き子育てプログラム）のスキルをもとに、親の問題意識や対応の方法など、実際に家庭でできるようになるまで一緒に考える。

ついテレビを見せてしまう、テレビやゲームがきっかけで親子喧嘩なる、ゲームの与え方など子育てが上手いかない時の問題点を考え、対処できるようにワークやロールプレイを行う。また、子どもの成長に応じて考えられるメディアからのリスク（ゲーム・インターネット・携帯電話・メールなど）への対処方法を考える。

- ① 前向きな子育てとは
- ② 親子の良い関係を促す10の方法
- ③ 困ったときの対処法
- ④ ハイリスクな状況に備える
- ⑤～⑦ 個別相談
- ⑧ 良い変化を維持するには・・・



前向き子育てヒント



もっと楽しいことがあることを、伝えましょう。

キャラクターのDVDやゲームに夢中です。少しは外で遊んでほしい。絵本も読んでほしいと思います。

ヒント 親も一緒に、外で遊びましょう。

→ 親が、楽しく一緒に遊んでみましょう。
親子の良質な時間を過ごしてください。

→ DVDやゲームを楽しむ時間をきめる。

子どもが大事にしているキャラクターを否定しないでください。ね。共通の話題したり関連する他の事柄など興味を向けさせると子どもの視野が広がり、会話力も付きます。



携帯電話。まず、親が取り扱い方を決めましょう。

子どもの帰宅時間が遅くなり（塾やお稽古事など）、連絡用に携帯電話をあたえようかどうか、迷っています。メールやネットを使いすぎるのではないかと心配です。

ヒント 購入する前に、親がどうするか決めましょう！

与える前に、前向きなルールを決めます。

→ 〇歳になったら、携帯電話を買う。

帰宅連絡用のみに使う。

家では家族のいる場所に置く。など

親が心配しすぎて干渉してしまい、親子の関係が悪くならないようにします。安心な機種を選定したり、親子でメールの交換してみるなど、使い方次第で親子の良質な関係を作るのに役立ちます。

メディアと子育て

トリプルP（前向き子育てプログラム）のスキルを使って
上手な付き合い方についてのセミナー①

NPO法人名 葉山っ子すくすくパラダイス

募集対象 乳幼児・小学生の親と子育て支援に関わる専門家
開催時期 22年9月27日
会 場 逗子市交流センター
開催時間 10時～12時
講 師 トリプルP認定ファシリテーター
参加者数 ① 23名

●主な内容

子育ての中で問題となっているテレビやDVDなどメディアとの関わり方について、トリプルP（前向き子育てプログラム）から前向きに考えるセミナー。前向き子育ての5原則を確認し、上手くいかないときの要因（間違っただうび・エスカレートの罠など）を考える。

また、すぐ家庭や子育て支援の現場で役立つ簡単な子育てのコツを学ぶ。

●企画理由

ダメ！といたり、静かにさせたいからと見せていたり・・・

親のメディアに対するの扱い方を少し変えてみるヒントを、前向き子育てプログラムから具体的に紹介。



前向き子育てヒント



時には、一区切りするまで待ってから。

子どもがうるさいとき、テレビをつけると静かにしているので、食事の支度の時など頼ってしまいます。でも、テレビを消すを怒りだすので困っています。

- ヒント テレビはどんな場面でしたか？
親の都合でスイッチを消していませんか？
→ 一区切りするまで待ってみましょう。
前向きなルールを決めておきます。
→ この番組が終わるまで見る。など

静かにさせるためについ見せてしまうテレビ。もしかすると、間違ったごごほうびになっているかもしれません。うるさくするとテレビが見られると、子どもは思ってしまうがちです。



前向きなルールを考えます。

小学校のお友だちはゲームが大好き。うちの子だけ禁止していると、お友だちができなくなるのではと不安になります。

- ヒント テレビやゲームを扱うのかは、親が決めます・
そして、前向きなルールを決めます。
→ ゲームは、〇〇歳になったら買う。
遊ぶ時間を決める。
30分遊んだら、ゲームを終える。など。

前向きなルールは、守らせやすいルール守りやすいルールにします。そして、出来たことを具体的にほめてくださいね。好ましい行動をほめることで、子どもは自信を持って出来ることが増えてきます。また、時には、スキンシップで愛情を表現することも大切です。

メディアと子育て

トリプルP（前向き子育てプログラム）のスキルを使って
上手な付き合い方についてのセミナー②

NPO法人名 葉山っすくすくパラダイス

募集対象 乳幼児・小学生の親と子育て支援に関わる専門家

開催時期 23年1月18日

会場 葉山町港湾管理事務所

開催時間 10時～12時

講師 トリプルP認定ファシリテーター

参加者数 21名

●主な内容

子育ての中で問題となっているテレビやDVDなどメディアとの関わり方について、トリプルP（前向き子育てプログラム）から前向きに考えるセミナー。前向き子育てのスキルを紹介し、上手に関わる方法・ヒントをグループごとに考える。

また、話しあうことで問題の要因を見つけ、家庭や子育て支援の現場で役立つヒントをみつける。

●企画理由

ゲームの遊び方も機種も新しくなるだけでなく、DVDや携帯電話・スマートホンなど、メディアとの付き合い方は、子どもの年齢や時代と共に変化していく。

これから予測されるハイリスクな状況を、前もって予測しどう対処するか、楽しく前向きに子どもと上手に付き合う方法、メディアを活用するヒントを、グループディスカッションしながらみつきたい。

前向き子育てヒント



穏やかに、決めたルールを説明しよう。

上手にテレビやDVDを見せるアイデア

- ・子どもが見たい番組・親が見せたい番組など話しあう。
- ・テレビを見る位置、テレビとの距離など環境を整える。
など

前向きなルールの紹介

ご飯を食べないと、テレビを見せない。

→ご飯を食べてから、テレビを見る。

テレビで兄弟げんかをしない。時間をきめる。

→テレビは弟から順番に見る。リビングで見る。

上手くいかないときも、決めたルールを説明して、穏やかに説明する。（エスカレートの罫にはまらないように）

前向き子育てヒント



決めたルールを守れたら、具体的にほめてみる。

上手にゲームと付き合うためのアイデア

- ・ゲームを買う前に、ルールを決める。
- ・どんなゲームがあるのか理解し、親が管理する。
など

前向きな行動を促すためのヒント

- ・決まった場所に片付けないなら、ゲームはさせない。

→ 所定の場所に片付けたら、具体的にほめる。

- ・ゲームの内容など話しはさせない。

→ ゲームの話しをきっかけに対話し、他にも、楽しい遊びがあることを伝える。

親が方針と基準を明確に決め、一貫した態度で接することが大切です。子どもの判断力を養います。